

2025～26年度 RI第2650地区

創立 昭和36年6月28日  
承認 昭和36年8月 3日

勝山ロータリークラブ週報

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30  
 例会場 勝山市市民交流センター  
 〒911-0811 福井県勝山市片瀬町1丁目402番地  
 TEL 0779-87-7761 FAX 0779-87-7760  
 URL : https://rid2650.gr.jp/club-katsuyama  
 Email:katsuyamarc@gmail.com  
 ■会長 滝川 博則 ■幹事 辻 利津子  
 編集発行・文責 公共イメージ委員会

会長メッセージ

～ 縁（えにし）  
を継なぐ ～



第3110回 例会 (1月27日)

●会長スピーチ

会長 滝川 博則



皆さま、こんにちは。先週末までの穏やかな景色が、週末の大雪で一変しました。同じ町とは思えないほど白一色の世界となり、改めて自然の力の大きさを感じています。

私は日頃から「大寒」など季節の移ろいを意識する方ですが、この時期になると、

特別に「雪」を強く意識する出来事があります。

昭和11年1月22日、父方の祖母の命日です。当時、南越前町南条奥野という場所で、祖父母と父、兄弟姉妹の6人で暮らしていた家が雪崩に巻き込まれました。

祖母は圧死、祖父と父、兄弟姉妹は重傷を負うという大きな雪災害でした。当時の福井新聞にも、その記録が残っています。

この週になると私は毎年、雪の怖さ、そして雪災害について改めて考えさせられます。

そんな思いの中で迎えた今週末の大雪。「今回は降る」とは聞いていましたが、正直「ここまで降るか」という気持ちです。

今は情報が早く、正確です。事前に備えができることは大変ありがたい時代になりました。

一方で仕事柄、昨日あたりから屋根の折損など、建物被害の連絡も入り始めています。

さらに今週末にも寒波が来るとの情報があります。だからこそ、いち早く情報をつかみ、早めに行動し、事故や災害を未然に防ぐことが何より大切だと感じています。

自然は避けられませんが、備えることはできます。この雪の季節を皆さまと共に無事に乗り切れることを願い、私の挨拶といたします。

●幹事報告

幹事 辻 利津子

○1月の理事役員会報告をご確認ください。

○公開例会の案内

鯖江ロータリークラブ

●委員会報告

●プログラム委員会

上山 弥一

2/10卓話予定の久保会員からアンケートの依頼がきていますので、ご協力ください。

●出席報告

山内 智子

1月27日	欠席6名	71.43%
1月20日	欠席3名	85.71%

●ニコニコ報告

笠松 誠一

卓話の機会をいただいて

福井BK海崎支店長

熱海富士準優勝

笠松誠一

届出欠席

山内政司・幅田浩司

会員のコーナー

織田昌弘会員

孫のために（自己満足）



我が家の孫も3人になりました。東京と名古屋に住んでいるのでたまにしか帰って来ませんが、「来ると楽しい」と思ってもらえるように色々手作りしています。最初は1ヶ月違いで生まれた2人に一緒に座ってもらおうと1歳の誕生日にむけて作ったベンチ型椅子。

次に娘からリクエストがあった踏切（踏切を見ると興奮する電車好きの男の子）。女の子用にはままごと遊びができるキッチンセット。

少し大きくなって滑れるようになった滑り台。

材料は亡くなった父が保存していた天然板や、機業場をしていたころ使っていた紙管などほとんど手持ちの材料です。

次は庭で楽しめるブランコやターザンロープ、ツリーハウスのようなものが作れないかと妄想しています。



本日 プログラム	クラブ協議会	2月10日 プログラム	会員卓話 笠松会員・久保会員	2月17日 プログラム	ゲスト卓話 勝山市観光まちづくり 今井 三偉 氏	2月24日 プログラム	ゲスト卓話 勝山市教育長 油谷 泉 氏
-------------	--------	----------------	-------------------	----------------	--------------------------------	----------------	---------------------------

## ゲスト卓話

## 福井県内の経済情勢等について

財務省北陸財務局 福井財務事務所 課長 前田 雅城 氏



財務事務所の前田と言います。本日はロータリークラブの例会にお招きいただきまして、ありがとうございます。日頃から皆様方には、我々の財務行政や経済調査へのご協力、誠にありがとうございます。この場を借りて御礼申し上げます。

私は現在、家は金沢で職場が福井ということで、日々新幹線通勤をしています。新幹線は雪には強いのですが、帰りにサンダーバードの待ち合わせで待たされるのが少なくない、という日々を送っております。

実は生まれは勝山市でして、知らず知らずのうちに皆様にお世話になっているのだろうなと感じております。

そんな縁ある地で、今日はお話しさせていただきます。30分という限られた時間ですので、お配りした資料をかいつまんでご説明させていただきます。

我々財務省の出先機関では、四半期ごとに県内の経済情勢をまとめています。直近の発表は10月末のもので、次は明後日29日に令和8年1月期の発表を控えておりますが、未公表のルール上、本日は10月のデータをベースにお話しします。

## 県内経済情勢（1）概況

## 福井県内経済情勢（令和7年10月）

県内経済は、緩やかに回復しつつある。

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、物価上昇の継続、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

## ■ 総括判断の推移

地域	令和7年1月	令和7年4月	令和7年7月	令和7年10月
福井	北陸新幹線の県内開業効果が引き続きみられるなか、緩やかに回復しつつある	北陸新幹線の県内開業効果が引き続きみられるなか、緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある
(参考) 北陸	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している
(参考) 全国	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある

県内経済は「緩やかに回復しつつある」と判断しています。

この1年を振り返りますと、令和6年3月の新幹線開業から一巡し、一部でその反動も見られますが、全体としては緩やかな回復が続いており、4期連続で判断を据え置いています。明後日の発表でも据え置きとなる予定です。

先行きについては、物価上昇の継続や米国の通商政策、金利・為替などの変動に注意が必要です。

また、新たなリスクとして、日中関係の悪化が特に製造業において懸念材料となっています。

個人消費については、物価上昇が続く中、売上高も上昇していますが、消費者の節約志向も高まっています。

一方で、県内ではスーパーやコンビニ、ドラッグストアが店舗数を増やしており、全体の消費額としては底堅く推移しています。

気になるのは新車販売です。前年比で若干マイナスか横ばいとなっています。これは需要というより供給不足が要因で、昨年夏のロシアの地震による影響や、半導体不足による減産、人気車種の納期待ちといったことが背景にあります。

観光・温泉については、新幹線開業の反動に加え、昨年10月まで関西万博へ客が流れていた影響もありました。万博終了後は客が戻っているという話も聞いています。

嶺北では開業1年の反動がはっきり出ている一方、嶺南では大きな客数増こそなかったものの、じわじわと増えている施設もあり、効果は持続していると考えています。

また、家電についてはWindows10のサポート終了に伴うパソコンの買い替えや、エアコンの「2027年問題（環境基準の厳格化による安価な機種種の消滅）」を見越した買い急ぎの動きが見られます。

生産活動では福井のウエイトが大きいのは電子部品、繊維、化学などです。

懸念されていたトランプ関税の影響は、実際にはほぼ見られていません。

特に「メガネ」は非常に高い水準です。

鯖江で全国の9割以上を作っていますが、国産品への評価が高く、国内外から注文が入っています。高価格帯は関税が上乗せされても買ってもらえる状況ですが、中価格帯では少し影響が出ているのかなという状況です。

雇用情勢では福井の有効求人倍率は1.68倍と全国トップクラスですが、東京の「1位」とは実態が違います。

東京は本社機能があるため数字が高く出ますが、福井の数字は実際に県内で働く場所がある、受理地ベースの数字です。

一方で、最近では倒産件数が増えている影響で、雇用保険（失業保険）の受給者が足元で増えてきている点は注意が必要です。

企業の課題と新しい動きとしては、新設住宅着工は「弱い動き」です。

昨年4月の建築基準法改正による駆け込み需要の反動もあり、トレンドとしては悪い状況が続いています。

企業マインドについては、製造業ではAIサーバー向けなどが好調な一方、全体としてはコスト上昇が重荷となり、中小企業では「増収減益」となるなど、価格転嫁が十分ではない状況が見受けられます。

人手不足も深刻です。人手は足りないものの、コスト増で求人が出しづらいつというジレンマがあります。

その中で、TikTokなどのSNSを活用して社内の雰囲気や伝え、ミスマッチや離職を防ぐ取り組みも見られます。

また、外国人材も全国並みのペースで増えていますが、福井はまだ技能実習が多く、専門人材を増やしていく余地があると考えています。

最後に、事業再編の動きです。

鯖江の金子眼鏡さんが小さな会社を吸収合併している例など、M&Aや事業譲渡の事例をまとめました。

人手不足やコスト上昇、設備投資の必要性など、小規模企業には厳しい環境です。

雇用やノウハウを守る手段として、こうした動きが他の業態にも広がればいいのではないかと個人的には考えています。

県内経済は、新幹線効果の反動はありますが、全体として回復の動きが続いています。

先行きについては、物価高、金利上昇、地政学的リスクなどに十分注意する必要があります。

我々としましては、今後もデータや企業の声をきめ細かく調査し、地域に発信していきたいと考えております。本日はご清聴ありがとうございました。